

平成24年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成24年7月17日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名(2名欠席)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査 11名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 津田公民館友の会だより『樺』・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成24年度 東京都公民館連絡協議会第2回・第3回委員会
運営委員会報告・・・・・・・・・・資料2
(3) 『みんなの生涯学習 No.108』・・・・・・・・・・資料3
(4) 平成21・22年度 公民館運営審議会諮問・答申・・・・・・・・資料4
(5) 市ホームページ 小平市公民館 利用団体一覧(抜粋)・・・・資料5
(6) 各館主催講座チラシ・パンフレット・・・・・・・・・・資料6
(7) 上水南公民館友の会ニュース 第119号・・・・・・・・・・資料7
(8) こだいら公民館だより 第125号・・・・・・・・・・資料8
(9) 平成24年度東京都公民館連絡協議会職員部会 第1~3回報告
・・・・・・・・・・資料9
(10) 平成24年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・資料10
(11) 平成24年度第2回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料11
(12) 平成23・24年度防災関連事業実施状況表・・・・・・・・資料12
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成24年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員会・職員部会
からの報告について
(4) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 節電行動指針について

安定的な電力需給と二酸化炭素排出量削減のため、使用電力量については、平成 23 年度夏と同様、平成 22 年度比 15%以上削減を目標とする取り組みを継続することとした。

(2) 市議会 6 月定例会について（6 月 5 日～6 月 29 日）

公民館に関連して、以下の一般質問があった。

- ・「聞こえのバリアフリー実現に向けて携帯用磁気ループの体験の機会を」
(回答) 新設する仲町公民館・図書館に設置する方向で検討する。
- ・「夏に向けて熱中症や暑さ対策を行うべき」
(回答) 他の利用者に影響のない範囲で、ロビー等を開放する。

(3) 仲町公民館・仲町図書館の改築工事について

建築工事にかかる入札が不調になり、改築に伴う付帯設備工事、仲町公民館の解体工事等が延期になった。そのため、平成 26 年度第一四半期リニューアルオープンの予定が、最低でも 6 カ月程度遅れる見通しである。

(質疑応答)

委 員 仲町公民館・図書館について、デザイン、予算等の変更はあるのか。不調になった原因は何か。

事 務 局 変更はない。入札業者の積算額が市の積算額を上回ったことが、不調になった原因である。

2 平成 24 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 10 について説明した。

<その他 >

- ・夕涼み映画会（中央）、夏休み子ども映画会（各館）を実施について
- ・市民学習奨励学級の進捗状況について

(質疑応答)

- 委員 定員 20 人程度の講座が多いが、部屋の定員の問題なのか、市の方針として、少人数の講座を企画しているのか。
- 事務局 部屋の定員の問題もあるが、最近では、ワークショップ形式で行う講座が増えており、講師と相談の上、適当なグループがつかれるように、敢えて小規模の講座を企画する場合もある。
- 委員 親子を対象とした講座が多くあるが、家庭の支援や親子に来てもらおうという方針があるのか。
- 事務局 市の方針として、親子を対象とした講座を企画している。特に、日頃利用の少ない父親の参加を促し、公民館に来てもらえるような講座企画に努めている。
- 委員 花小金井北公民館の「平櫛田中と日本近代彫刻」は、小平の資源をどのようにまちの活性化に活かしていくかを考える講座にもなり得るが、積極的にまちづくりにつなげていくという考え方はあるのか。
- 事務局 講座の趣旨は、近代彫刻と平櫛田中彫刻美術館との相関関係を分かりやすくひもとくことである。当初から、まちづくりにつなげるという観点があったわけではないが、最終的につながっていけばいいと考えている。来年度に向けて、小平の文化やゆかりのある人物を盛り込んだ講座企画に力を入れていく。
- 委員 地元の企業や農家等を講座の講師に迎えたり、連携した事業を展開することで、つながりができ、公民館利用者を増やすきっかけになるのではないか。
- 委員 主催講座等の成果を発表する学習成果発表展は、これまであまり受講生の顔が見えてこなかったが、受講生が職員と一緒に発表できるようなものにならないか。
- 事務局 今後、検討していく。学習成果発表展においては、公民館利用者はもちろん、公民館を利用したことのない人に興味を持ってもらえるような PR に努めていきたい。
- 委員 子どもを対象とした講座について、子どもに意見を聞くようなことはあるか。

事務局 講座終了後にアンケートはとっている。

委員 子どもたちの環境保全活動や環境学習を、地域の大人が支援する子どもエコクラブがあるが、公民館にも応用できないか。子どもが楽しみながら、公民館を継続的に利用し、公民館の運営に参加していくような取り組みができれば、面白いのではないか。これに関連して、地元の大学等との連携はあるか。

事務局 近年、土曜子ども広場友・遊や、青年教室等で、地元の大学生や高校生が事業運営に参加し、連携を進めている。

委員 夏休みは学習室や遊び場の開放、土曜日は、土曜子ども広場友・遊があるが、それ以外の時に、子どもでも公民館を利用できるようなシステムづくり、居場所づくりに取り組んでほしい。

事務局 公民館が地域の人の居場所になるような方向で考える必要があると感じている。

3 平成 24 年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について

委員、事務局より資料 2、9 について説明した。

・東京都公民館連絡協議会委員部会全体会及び第 1 回研修会

日時 平成 24 年 7 月 15 日（日）13：30～16：00

場所 国立市公民館地下ホール

研修会テーマ 「改めて公民館と公民館運営審議会の意義を与える」

(質疑応答)

委員 第 1 回研修会の委員の感想に、公民館が行政コストを削減するとあるが、どのような意味か。

委員 公民館で人と人がつながり、自発的な活動につながっていく。子育てや高齢者の支援等、行政が税金を投入している部分を、本来の地域住民の自発的な活動で実現していくことで、行政コストの削減につながるということだ。

4 その他

- ・各館の防災関連の事業実施状況について（資料 12）
- ・公民館あり方検討プロジェクトの進捗状況について

（質疑応答）

委 員 あり方検討プロジェクトで利用するアンケートは、20 歳以上を対象としているが、子どもの意見については、どのように考えているか。

委 員 公民館を利用しない理由を子どもに聞くのは厳しいものがある。子どもを対象とした事業等で感想や要望を聞いたり、子どもを支援する大人から意見を聞くのがいいのではないか。

事 務 局 子どもを対象とした事業で、アンケートをとっているので、データを収集し、状況を把握したい。

次回は、9月18日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。